

2005

中・四国支部青年技術士交流会の発足

中・四国支部40周年の企画として青年技術士による座談会を実施（中国、四国で計2回）
修習技術者支援委員会との共同主催で修習技術者及び若手技術士による業務事例発表会を実施
青年技術士会交流会の例会を利用して、メンバーによる勉強会を開始

2006

各県技術士会青年部との交流会を実施
昨年に引き続き若手技術者による業務事例発表会を実施 恒例のイベントすることが決定
メーリングリストおよびwebサイトの整備が完了 PEへの活動予定の広告もスタート
他資格団体との交流会および共同勉強会を計画 手始めに広島県建築士会青年部との交流会を実施

2007

中・四国支部で来年の松江での全国大会に向け、準備委員会が発足
青年技術士交流会も分科会用の準備を開始するため、島根技術士会青年部との協力関係を強化
北陸での全国大会に青年技術士交流会委員以外のメンバーも多数参加
他資格団体との共同勉強会を建築士会と共同企画 様々な職業資格者への参加呼びかけを開始

2008

青年技術士交流会での活動が身を結び、若手技術士の日本技術士会への入会が急激に増え始める
と同時に、青年技術士交流会で行なってきた様々な活動が支部から認められ、予算が大幅アップ！
全国大会が松江で開催される ←大いに盛り上がる
全国大会で交流が深まった中・四国支部青年技術士交流会で、定期的な交流会を行なうことが決定！

2009

中・四国支部の会員数が2000人を突破！と同時に四国の技術士会会員がついに300人を突破！
四国支部設立のための準備委員会が発足
全国大会を無事終えて中・四国支部青年技術士交流会の委員が一新！委員の平均年齢が5歳若返る
中・四国支部合同の青年技術士による初の定期交流会を岡山県で実施

2010

中・四国支部が解散し、**中国支部と四国念願の四国支部が新設される！**
四国支部設立を記念して中・四国支部合同の青年技術士による定期交流会を四国で実施
中国支部新設記念行事の開催
他資格団体との共同勉強会も順調に規模拡大 異業種交流会としてのクオリティも充実し始める

2011

中国支部青年技術士交流会のメンバーが500人を突破！ 四国支部のメンバーも100人を超える！
四国支部設立を記念して四国支部で全国大会開催が決定 準備委員会が発足
多業種にわたるネットワークの構築に伴い、一般社会に向けた技術や情報の還元を模索
大学等の研究機関やスポンサーとなる民間企業などとの関係をより一層強化

2012

四国で全国大会が開催される！
中・四国支部共同の青年技術士交流会から四国支部のメンバーが完全独立を宣言（定期交流会は継続）
複合技術（ねこヒグレーダー）の研究、書籍の出版といった企画がより具体的な活動として浮上
海外技術視察研修会を計画 メンバーは個人的に積立てを開始

2013

中国・四国両支部の建設部門以外の技術士が建設部門の技術士の数を超える！←無理か...
青年技術士交流会でも独立技術士の数が半数近くに増加！←これも無理か...
どんな問題も瞬時に解決できる複合技術（ねこヒグレーダー）の研究のスポンサーが決定！
スイスへの技術視察研修会を実施 メンバーは時計職人の技術に感動！

2014

中国・四国両支部の役員幹事の半数以上が青技交メンバー出身者となる
技術士会会員の平均年齢が、10年前より10歳下がる
念願の青年技術士交流会監修の書籍を発売決定 ←ベストセラーに（コンサルは各社1万部ノルマ）
複合技術（ねこヒグレーダー）の研究も具体的なプロジェクトとしてスタート！ 10年後の成果に期待！

2015

中国支部および四国支部の5周年（中・四国支部50周年）の記念誌創刊
青年技術士による座談会を実施（青技交10年間の実績を振り返る）←先輩達はよく頑張った！の声多数
広島をモデルとして他資格団体との共同勉強会も各県で企画されるようになる
中国支部としての活動から各県単位への活動への道を模索し始める